



学校祭(ゆめこ祭)をふりかえって

10月16日(土)に開催した学校祭(ゆめこ祭)については、今年度も感染症対策のために学部ごと、保護者等限定の開催ではありましたが、皆様に御理解・御協力をいただきありがとうございました。

また、全校児童生徒が96名となり、春山校舎体育館等で一堂に会することが難しい現状でもあり、そのため今年度の「ゆめこ祭」オープニングは春山校舎と石崎校舎をオンラインでつないでの一斉スタートとしました。

その後は、学部ごとにステージ発表や作業製品販売等で、みんなが自分の役割を果たし、笑顔で生き生きと活動していました。日ごろの学習の成果を披露するというねらいを達成し、コロナ禍における本校の課題を打破するひとつの光(方法)が見つかった学校祭ともなりました。

次年度は、より多くの皆様をお招きできるようになることを願っております。

校長 菅野 美恵子

令和3年度ゆめこ祭 テーマ 「 ゆめをここに ~希望の光を見つけよう!~ 」

オープニング

実行委員による進行や始めの言葉があり、各学部の活動紹介をしました。収録映像でのトーチリレーもあり、実行委員長掛け声で、みんなが「エイエイオー!」と盛り上がりました。



石崎校舎2F：高等部実行委員



春山校舎体育館：小学部



春山校舎2F：中学部



石崎校舎1F：高等部

小学部

1年生、2年生、3・4年生、5・6年生の4グループが、劇(ステージ発表)を行いました。それぞれ自分の得意なこと、好きなこと・できるようになったことを上手に披露しました。



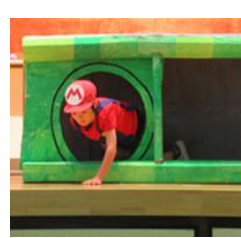
1年生『どんないろがすき』一人ずつ上手に返事をし、型はめ、お話、ジャンプ体操等を披露できました。



2年生『ゆめこ秋まつり』教室でも行った秋祭りを再現。友達のお店で、焼きそば等を上手に買うことができました。



3,4年生『みんなの1週間』曜日ごとのグループでボール投げや縄跳び、音楽等を発表。ダンスもgood!



5,6年生『スーパーたむらブラザーズ』トンネルをくぐり、星をゲットし敵を倒して、姫たちを無事救出することができました。



中学部

ストラップ→



家庭班 (ミシングループ)

ミシンを上手に使って、たっぷり収納できる『マチ付きポーチ』や新製品『巾着』、マスク入れなどをたくさん作りました。販売も上手にできました。



家庭班(織り機グループ)

たて糸とよこ糸の調節に苦戦しながらも織り機を操作し、色彩豊かに織り上げ長いストラップやキーホルダー等を販売しました。



農工芸班(紙グループ)

牛乳パックを再利用し、油取りパック「あぶらとるゾウ」を製作しました。日頃の作業学習でも黙々と根気よく取り組んでおり、学校祭でも実演しました。



農工芸班(畑グループ)

サツマイモ、カブ、大根など、一生懸命に育てた野菜を販売しました。畑に関する発表もわかりやすく説明できました。



高等部

総合サービス班では、「cafe アゼリア」を開き、飲み物等の販売をしました。前日はプレオープンとし、

高等部全員が販売の練習や、お客様としてcafe体験をしました。



左:前日のcafeで順番待ちのお客様方。



フィナーレ (学部ごと実施)

だい せい こう



小学部

家庭班では、普段から、ミシン班と刺繍班、編みつけ班に分かれて製品づくりをしています。当日も3箇所で開催、説明をしながら販売を行いました。



中学部



高等部



2つの校舎をもつ学校としての「つながり」を工夫した学校祭でもありました。現在は、それぞれの校舎で、学部間『作品交流』をしています。この「つながり」を今後も大切に育み、たむら支援学校をより発展させていきたいと考えております。今後も、保護者の皆様、地域の皆様の御支援をよろしくお願いいたします。

文責: 校長 菅野 美恵子